

こんな先生方の姿が生まれました!

- 長い時間をかけて変化する対象物を記録し、授業の資料提示等に活用することができた。
- 授業で学んだことを生かす場をつくることで、生徒が学びを実感し、情報活用能力を育成することができた。

タブレットで撮影した動画の教材資料化

カメラアプリのタイムラプス機能を使って 撮影した動画を教材化して共有する

- ・中学校第2学年、理科の「天気とその変化」の学習で活用した。
- ・タイムラプス機能を使って、1日の雲の移動の様子を撮影・保存し、雲の動きと天気図の気圧配置や等圧線の間隔を比較する際に活用した。
- ・保存した動画を共有ボックスに保管しておくことで、教師も生徒も必要に応じて活用できる。
- ・データを保存・蓄積しておくことで、過去の天気図と実際の映像を比較したり、参考にしたりすることができる。



導入のポイント

- カメラスタンドに設置して、録画開始と終了ボタンを押すだけで、対象物の変化を長時間記録できる。
- データを共有ボックスに保存し、教師や生徒がいつでも活用できるようにしておく。

校区の小学校6年生が利用できるシステムの開発・公開

小学校6年生の中学校生活への不安や分からないことを解消するチャットボットの制作と公開

- ・本校に進学する小学校6年生の中学校生活への不安や分からないことを解消するためのチャットボットを技術科の授業で制作した。
- ・小学校6年生が質問を入力すると、チャットボットが該当する回答を表示するシステムを制作した。
- ・インターネット上に公開し、対象児童のみに URL を伝え、利用を促した。



導入のポイント

- 小学生や学校外の人々に利用してもらうことで、学びを実感できる効果がある。